

学校運営を地域に開く

「開かれた学校づくり」から発信

このコーナーでは、各園・学校の取り組みや様子をお知らせし、地域の学校としての情報発信をしています。地域の皆様には、様々な取り組みにご理解とご協力をいただいておりますが、今後とも地域ぐるみで子どもの健全育成に関わっていただけますよう、よろしくお願いいたします。

勝賀瀬小学校

学社融合で学校へYOU・GO!



前々日來の雨が上がった1月、午後2時。しっとりとしたグラウンドコンディションの運動場で、学社融合推進「新春グラウンドゴルフ大会」が開かれました。地域の方々と児童がいっしょに行うグラウンドゴルフは回を重ねて9回目です。校区内外からメンバーが集合し、18人が5組に分かれて楽しみました。これが「5の日の学校応援団」の柱となる活動です。

わいわいとおしゃべりを楽しむ人あり、スコアを意識しながら自己新記録を目指す人あり、そして児童の活躍に目を細めてくれる人あり。人生のベテランの皆さんとのふれあいで、2人の児童は低学年なりの付き合い方を身につけてきています。ラウンド終

了後の「ふれあいテント」はゴルフ談義のロビーに、学級園産取れたて野菜の直売所に、時には児童の作品入賞の表彰式会場にと、笑顔が集う一画となっています。

おかげさまで今年度は幅広い年齢層の『同級生』といっしょに、異年齢・多人数学級での授業をたくさん経験できました。手話講座や英語のレッスンもありました。地域・保護者の皆さんはいずれにも学習者の立場で臨んでくださり、これ以上ない貴重な応援となりました。

学社ユー・ゴーの時代です。学校はあなたが必要です。

さあ、次の5の日にはあなたも学校へ、YOU・GO!



枝川小学校 宇治川クリーン

4班に分かれて地域の 清掃活動で汗を流しました!



12月。枝川小では恒例となった、土曜子ども会主催の宇治川クリーンを地域の人といっしょに行いました。

参加者は、枝川公園～学校班(大人10名、子ども3名)、JR枝川駅南～学校班(大人6名、子ども6名)、ハローワーク～学校班(大人5名、子ども3名)、枝川小学校～国道南～学校班(大人4名、子ども11名)、焼き芋班(焼き芋・お茶のお世話:大人2名)、車・運搬班(車でごみの運搬:大人4名)の計54名で、汗を流し、清掃活動を行った後、藤田絹代さんがお世話して下さった焼き芋をいただきました。感謝の気持ちでおいしく食べました。

参加した児童は、「いつもは気がつかないけど、ふだん見ているよりたくさんゴミがあることが分かりました。」「拾うとすっきりしました。」「参加できて良かったです。」「心の中がすばらしい気持ちになりました。」と感想を話してくれました。

地域のゴミを皆でなくしていけたらいいなと思います。

伊野南小学校 ～いきいき輝け南の子～ 元気に、心を込めて学習しています。

先頭に立って頑張る6年生

児童の学校生活が、きまり正しく活気に満ちたものになるためには、6年生の役割が大変大きいです。6年生は、これまで様々な学校行事や集会活動、縦割り掃除などで、下級生の世話をしながら先頭に立って頑張ってきました。写真は、リンとした態度で学習に集中する6年生の様子です。頼もしい6年生です。



100kmマラソンに挑戦

寒い朝が続いていますが、子どもたちは、毎日少しずつ走り続け、100kmマラソンに挑戦しています。伊野南小学校の運動場は、一番外側を走ると約400メートルあります。友達と誘い合って毎日2～3周程度元気に走り、丈夫な体と挑戦する気持ちを育てています。

盲導犬との触れ合いの中で

視力障害者協会の松岡弘会長に来ていただき、3年生の児童が、視覚障害のある方の日常生活や盲導犬の役割について学習しました。自分の役割を立派に果たす盲導犬の様子から、自分たちができることは何かと真剣に考えました。

〔盲導犬パシーは、松岡さんの目の代わりになっているんだな。ほくも、「段差があります。」と言ってあげたり、自転車をのけてあげたりして、やさしい人になりたいです。〕児童の感想より



地域を花いっぱい

日ごろお世話になっている地域のいろいろな施設に、今年も花を届けました。児童会で話し合っ、自分たちが大切に育てた花を届け、地域を花いっぱいにとしようと決めたものです。

今年は、寒さが厳しく花の育ちは今ひとつですが、子どもたちの感謝の気持ちや地域を大切にする気持ちをお伝えすることができればと思っています。

元気な「いのっ子」に育てるために

子どもの生活リズムを改善する方法

本年1月に吾北中学校を会場にして開催された第4回「のびる吾北の子」研究発表会において、高知大学教育学部・原田哲夫助教授による講演「子どもたちの睡眠健康や生活リズムを改善する具体的な方法を考えよう」が行われました。原田先生から、子どもたちの夜型化が進行して生活リズムが乱れてきていることを危惧するとともに、大人たちに取組の必要性を訴える話をしていただきました。以下に、原田先生から提唱された、子どもの生活リズムを改善する具体的な方策をご紹介します。

1. 寝る場所を変えたり、薄手のカーテンにするなど、朝日を浴びるようにする。
2. 日没後から就寝までは、できるだけ蛍光灯を避け、白熱灯を使う。
3. 日中、特に午前中は太陽の光を浴びる。
4. 寝る時刻を決め、寝床で絵本を読むなど自然に眠りに入れる環境作りを行う。
5. 朝食を決まった時刻に取り、魚・納豆・卵などを多く摂取する。
6. 保護者自身の生活リズムを朝型に変える。
7. 子どもの時間を守り、酒場や夜間営業の店に子どもを連れていかない。
8. 塾はできるだけ早い時間帯に通う。(朝塾の奨励)
9. 夜間に携帯電話・パソコン・テレビゲームを使わない。



子どもの生活リズムを改善するために、みなさんの家庭でぜひ取り組んでみてください。